



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 父兄会秋季部会が開催されました

歯学部長 宮崎 隆



本学では毎年6月に父兄会総会を開催し、当該年度の事業計画と予算案を承認しています。秋には、1年生のご父兄・ご父母を対象にした父兄会秋季部会富士吉田教育部会と、2年生以上を対象とした父兄会秋季部会を旗の台校舎(医歯薬学部)と横浜校舎(保健医療学部)で開催しています。平成27年度の父兄会秋季部会(医歯薬3学部)は、去る10月17日(土曜日)午後1時から旗の台校舎で開催されました。歯学部全体会は4号館6階600号室で開催されました。歯学部の出席者は208組227名で、昨年よりも若干減少しました。大学全体では874組、988名の出席者でした。

歯学部全体会では、宮崎学部長から夏季休暇中の学生の国際交流事業への参加や全歯体の成績等を紹介して、学生が学業だけでなく課外活動にも積極的に取り組んで充実した学生生活を送れるようにご父母のご理解を求めました。美島教育委員長から進級判定ならびに卒業判定の説明があり、成績向上に向けて様々な支援体制をとっていることを紹介しました。上條学生部長から学生生活全般にわたる注意事項と新しい指導担任制度の概要があり、歯学部の学年主任・副主任の紹介がありました。

学部の全体会終了後、会場を移して、ご父母と各指導担任との個別懇談が行われました。本年度から新しい指導担任制度がスタートし、4年生までは学部と学年の枠を超えた指導体制になりました。たとえば歯学部の基礎講座に所属する指導担任は、2~4年生の医学部・歯学部・薬学部の学生を混成で8名ほど担当しています。指導担任は主に生活指導に力をいれ、別途学習支援の必要な学生に対して修学支援制度を導入しています。こちらは午前中に希望のご父母に対して面談を行いました。今回はご父母の誘導に学生がスチューデントインストラクターとして協力してくれ、スムーズな運営ができました。

最後は7号館に会場を移し、3時30分から医歯薬学部合同の懇親会が開催されました。今年から就任した與儀美由紀父兄会長の挨拶に引き続き、小口理事長から学生が充実した学生生活を送ることがで

きるように最大限の支援をしたいとの挨拶がありました。今年の懇親会には例年以上に歯学部の教員が参加して、ご父母と楽しい歓談をし、午後4時半過ぎに散会しました。

## 大学院秋季入学式が開催されました

歯学研究科長 宮崎 隆

平成27年度昭和大学大学院秋季入学式が、去る10月1日(木)午後6時から16号館3階講義室で開催されました。今回の入学者は医学研究科10名、歯学研究科1名、保健医療学研究科博士前期課程7名の総計18名でした。

式は昭和大学管弦楽団の演奏で開会し、小出良平学長から入学生に式辞があり、小口勝司理事長から祝辞を頂戴しました。参列者全員で昭和大学宣言に引き続き、校歌を斉唱して閉会しました。その後各研究科に分かれてオリエンテーションを行いました。歯学研究科に入学した周先生は、交流プログラムを締結している中国の天津医科大学からの留学生で、すでに4月から来日して歯科材料の研究に従事しています。歯学研究科では秋入学者が少ないのですが、今後多様な人材を受け入れていきたいと考えています。



## 国家試験の日程が決まりました

教育委員長 美島 健二

朝晩がめっきり涼しくなってきましたこの季節ですが、6年生はいよいよ熱くなり国家試験に向かってスパートを開始しております。第109回国家試験が平成28年1月30日(土)及び31日(日)に施行されることが公示され、その準備として10月5日に第1回受験手続き説明会が行われました。次いで10月27日第2回受験手続き説明会、11月中に出願、平成28年1月26日、受験票交付という予定になります。また、合格発表は平成28年3月18日(金)14時に行われます。卒業試験Ⅰが9月28日、29日と施行され、これから6年生は卒業試験Ⅱ及びⅢと進んで行くこととなりますが、全員卒業、全員合格を目指して必ずや力を発揮してくれることと期待しています。

## 昭和大学ホームカミングデーが開催されました

昭和大学歯学部同窓会理事(8回生)野中 直子

第8回昭和大学ホームカミングデーが10月11日(日)、昭和大学50年記念館において、旗が丘祭・いぶき祭に合わせて開催されました。「お帰りなさい！懐かしき青春 思い出の母校へ」をテーマに、今回は卒業50年(医学部33回生)と卒業25年(医学部58回生、歯学部8回生、薬学部21回生)が招待されました。式典は、昭和大学管弦楽団によるオープニング演奏に始まり、倉田知光実行委員長より開式の辞、続いて小口勝司理事長、小出良平学長、飯島裕之歯学部同窓会長からのご祝辞をいただき、卒業50年のゴールドン表彰(医学部33回生:黒川叔彦先生)、卒業25年のシルバー表彰(医学部58回生:北村直康先生、歯学部8回生:野中直子、薬学部21回生:後藤公則先生)の各学部代表者に記念の盾が授与されました。招待学年を代表して井出宏嗣先生(医学部33回生)からご挨拶をいただきました。続いて昭和大学宣言を唱和し、グリークラブの部員の皆さんとともに校歌斉唱を行いました。次に卒業生へのエールと題し、応援指導部より演舞の披露がありました。式典に引き続き、同会場で懇親会が開かれ、開会宣言、鏡開きがおこなわれ、乾杯後に歓談、会食となりました。夕方からは、卒業25年の3学部合同同期会の宴会を新高輪プリンスホテルで、二次会を品川プリンスホテルで有志により開催し、150名(歯学部32名)以上の出席者が夜遅くまで懐かしい思い出や近況報告にと学部の垣根を超えて交流をすることができました。富士吉田キャンパスでの寮生活を行ったことが、貴重な経験となっており、友人の大切さを再認識しました。とても楽しい一日となり、皆さん笑顔で、次回のホームカミング(卒業50年)までは待てないので、その前にまた3学部合同で同期会をしましょう。という案もすでに出しております。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださった昭和大学と関係者の皆様、そしてホームカミングデーの運営に多大なご協力いただきました昭和大学総務部総務課の皆様にご心から御礼申し上げます。



## 国際歯科連盟(FDI)の学術委員に選出されました

口腔生化学講座 上條 竜太郎



国際歯科連盟(FDI)は、スイスのジュネーヴに本部を持つ歯科医師会組織の連盟で1900年の設立、現在は130以上の国、地域から190以上の組織が参加しており、少なくとも合計百万人の歯科医師を代表しています。また、FDIはWHOと国際連合により公式に認められた団体で、国際看護師協会、世界医師会、国際薬剤師・薬学連合とともに

World Health Profession Allianceを構成し、口腔保健の維持、向上を通じて世界の人々の健康に貢献しています。FDIは理事会と5つの常設委員会を中心として運営されております。本年9月にバンコクで開催されたFDI年次総会において、理事、常設委員会委員の改選が行われ、私は日本歯科医師会のご推薦をいただき、学術委員会の委員に立候補し、初当選致しました。私には、これまでとは多少異なる領域での仕事ですが、日本人唯一の常設委員会委員として、世界各国の口腔保健向上、歯科界の益々の発展を目指して、精一杯職務を全うする所存でございます。今後ともご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 公的研究費コンプライアンス・研究倫理研修会が開催されました

歯学部研究活動委員会 委員長 上條 竜太郎

「公的研究費の管理・監査のガイドライン」及び「研究活動における不正行為への対応に関するガイドライン」の改正に伴い、公的研究費に関わるすべての構成員がコンプライアンス教育・研究倫理教育を受講することが義務付けられました。本学においては9月29日午後6時より、上條講堂で上記研修会が開催されました。受講対象者は公的研究費に関わる全研究者、研究補助員及び事務職員等(今後の研究費応募予定者を含む)と大学院生でした。また、同様の研修会が藤が丘病院でも開催されました。

本研修会未受講の場合、平成28年度科研費が採択されても、交付申請書を提出することが出来ません。また、平成29年度以降は科研費の申請すら認められなくなります。

今回の研修会をやむを得ない事情により受講できなかった方は、DVDを旗の台キャンパスは各財務部研究助成課、歯科病院は歯科病院事務課へ配布してありますので、必ずご視聴くださいますようお願いいたします。また、今後開催される本研修会には是非ともご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

## D1 地域連携歯科医療実習が実施されました

富士吉田教育部 前田 昌子



8月31日から9月19日まで富士吉田では初年次体験実習が行われました。この実習は1年生約600人が福祉施設見学、病院見学、BLS(心肺蘇生)講習、学部実習を

体験しながら医療人としての1歩を踏み出す実習です。実際の医療現場を見学できることから、学生たちはこの実習を入学時から緊張しつつも楽しみにしています。今年度からはさらに、在宅医療実習の一貫として高齢者宅を訪問する実習も加わりました。

歯学部実習は「地域連携歯科医療実習Ⅰ」として事前説明1日と実習3日間の日程で行われました。事前説明では実習内容の確認の他、卒業生で開業医として活躍されている、小原先生、藤田先生にご講演をいただきました。両先生からは歯科医師としての心構えや歯科医師会での活動の様子をご説明いただきました。実習1日目の午前中は前期に行った歯学入門の復習をしながら、基礎的な内容を確認しました。旗の台から来てくださった先生方も学生の質問にコメントをくださり、学生たちは見学時の課題を見つけていました。午後はケーシータイプの白衣を着用し、身だしなみの確認をしました。初めて着用するケーシーはTシャツが透ける、ズボンの丈が長い、首元のボタンが留められないなど不慣れな点が続出していました。翌日訪問に行く診療所へご挨拶の電話かけた後は、患者さんを待合室からユニットに誘導しエプロンを付ける練習をしました。エプロンを付けるだけで手が震えてしまい、こちらにまで緊張が伝わってきました。2日目は見学。帰寮時には見学した内容、先生から伺った話に感銘を受けた、印象を取らせてもらったなど、体験を興奮しながら報告してくれました。3日目は午前中に見学内容をまとめ、午後から発表会を行いました。実習先での経験、各診療所で見学・体験できたことや教えていただいたことを報告してくれました。最後に、学生を受け入れ指導してくださいました歯科診療所の院長先生、スタッフの皆さん、旗の台から実習にご協力いただきました多くの先生方に感謝いたします。

## アジア太平洋歯学生会議(APDSA)の報告会が開催されました

歯学部 5年 丸山恵莉

夏休み中の8月10日～14日の5日間、台湾で開催されたアジア太平洋歯学生会議(APDSA)に参加し

ました。APDSAは、アジア太平洋地域の歯科医学生の国際交流団体で、毎年開催され、学生レベルでの交流を深めることを目的にしています。今年の参加者は日本人63名を含む約300名で、本学からは私たち4名(金箱志桜都、岩下由樹、小倉董、丸山恵莉)が初めての参加でした。期間中はありとあらゆる交流プログラムが計画されていて、大変刺激になりました。海外の友達作りも楽しみつつ、お互いの議論をしていく中で各国による歯学教育システムの相違点など知ることができました。参加学生全員が口をそろえて、有意義な会議であったと話していました。

帰国後の10月1日には旗の台校舎で参加報告会を行いました。参加者全員でスライドまたは動画を用い、現地でのエピソードを含め発表しました。APDSAの魅力を伝え、来年以降の参加者数の増加に是非とも繋げたいと思います。学生研究コンテスト(SRC)の出場も、今後参加される学生にはお勧めしたいです。

参加を応援してくださった、宮崎歯学部長をはじめ、



国際交流センターの方々、そしてお世話になった先生方に心から感謝します。

## 国際補綴歯科学会でポスター賞を受賞しました

大学院 4年(高齢者歯科学専攻) 志村雄太

2015年9月17日～20日に、韓国・ソウルにて開催された16th International College of Prosthodontists(国際補綴歯科学会:ICP)にてポスター発表をして来ました。昭和大学からは10名が学会に参加しました。4日間の学会期間中はインプラント補綴、高齢者歯科学、CAD/CAM、セラミック等のテーマに分かれて、分野ごとにセッションが行われました。海外の研究者や研究発表に触れ、大変有意義な学会参加となりました。また、発表した「Verification of implant placement in the edentulous posterior mandible」が poster award を受賞しました。今回の受賞に際して、これまでご指導下さった高齢者歯科学講座の佐藤裕二教授、歯科保存学講座歯科理工学部門の宮崎 隆教授、故 藤島



昭宏先生をはじめ、多くの先生方と関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

## 平成27年度昭和大学解剖慰霊祭が 挙行されました

口腔解剖学講座 中島 功



平成27年度解剖慰霊祭が10月20日(火)午後2時より、御遺族・来賓・学内関係者・学生の参列のもと、上條講堂においてしめやかに行われ

ました。本年度慰霊された献体者は病理解剖または解剖学実習のための正常解剖に供された方々で、この中には歯学部解剖学実習のために献体された方が29柱含まれています。式には約67名の御遺族ならびに同伴者62名の計129名と、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生が参列しました。今年の歯学部の人体解剖学実習は4月から7月まで行われました。医学・歯学を学ぶためには解剖学実習はなくてはならず、そのためにはご遺体の提供は不可欠です。献体者と御遺族に対して大切なご遺体を解剖させていただいた御恩を深く感じて、お礼をするために歯学部からは2年生が参列いたしました。

開会の辞に続いて、物故者の御冥福をお祈りして、参列者全員で黙祷が捧げられました。昭和大学を代表して医学部解剖学講座顕微解剖学部門の本田一穂教授が祭文を述べられました。歯学部からは学生代表として酒向遥香さんが弔辞を述べました。小出学長より参列者に御礼と感謝の気持ちを述べた御挨拶があり、次いで参列者全員が祭壇の前で献花を捧げて午後3時に解剖慰霊祭は終了しました。

## 白菊会連合会総会開催されました

口腔解剖学講座 中島 功



白菊会連合会平成27年度総会が10月18日(日)日比谷公会堂にて開催されました。当日は天気も良く温かな穏やかな日で、参加大学8大学11学部から760名が出席され、昭和大学歯学部からも43名の会員さんが参加されました。12時30分に会場となり、各校の解剖学教室員が会員さんをお出迎えしました。総会は今回の当番校である、日本大学歯学部の高橋富久教授による開会の辞で始まり、次いでこれまでに御献体いただいた物故会員のご冥福を祈り参加者全員で黙祷をささげました。続いて日本大学歯学部長、文部科学省高等教育局医学教育課長、日本解剖学会理事長、日本篤志献体協会理事長、篤志解剖全国連合会会長、

白菊会連合会会長の挨拶、会務報告が行われました。続いて次回の当番校である東京大学医学部の吉川雅英教授の閉会の辞で総会は終了しました。

日比谷公会堂は1929年に作られた歴史ある建物であり、老朽化してきたことから耐震工事を行うということで来年は場所を変えて東京大学の安田講堂にて行われることになりました。休憩を挟んだ後、アトラクションとして「琵琶・琴・バイオリンによる弦楽器の三重奏」がおこなわれ、15時30分に終了しました。

## 先端歯学スクールで発表しました

大学院4年(歯科矯正専攻) 長濱 諒



9月24日、25日の両日、先端歯学国際研究ネットワークが主催する「先端歯学スクール2015」が福岡県のThe Luigans Spa & Resortにて行われました。本会は全国の国立

立大学を中心とした大学院生が集い、各々の研究について各大学の著名な教授たちを交えて討論し合うもので、非常に緊張感のある会でした。先端歯学の名の通り、各大学院生は非常にレベルが高く、研究に誇りを持って取り組んでいたことが深く印象に残っております。発表後の質疑応答では様々なご指摘やアドバイスをいただくことができ、とても勉強になりました。また基礎の分野で研究している同年代の大学院生と友達になることができ、彼らと様々な意見交換や苦労話を共有できたことも、今後研究をする上では非常に良い刺激になりました。このような機会を与えてくださった山田篤先生、榎宏太郎先生、そして上條竜太郎先生を初め、多くの先生にこの場をお借りして感謝申し上げます。

## 認定医・専門医取得

口腔解剖学講座 中村 雅典

日本歯科麻酔学会 認定医:

岩本泰輔(昭和大学歯科病院研究生)  
大曾根敬子(昭和大学歯科病院助教(員外))  
川本弓育(昭和大学歯科病院助教(員外))  
桑迫麗名(昭和大学歯科病院研究生)  
立川哲史(昭和大学大学院歯学研究科歯科麻酔科学専攻)  
松成紗帆子(昭和大学藤が丘病院助教)  
山本理絵子(昭和大学横浜市北部病院助教)

2015年8月30日付

## 編集後記

口腔生理学講座 清本 聖文

木々の葉も少しずつ色付きはじめ秋の深まりを知らせてくれる季節となりました。体調も崩しやすい季節となります。皆様、ご自愛ください。

ご寄稿下さいました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。